RIBF-ULIC-miniWS028

仁科センター共用促進・産業連携部公募研究会 申請書（mini-WS用）

提出年月日： 2013/9/25
提出先： sympo-kyoyo[at]ribf.riken.jp

1） 開催予定日・場所

日程： 2013年10月10日 (yyyy/mm/dd) ～ 2013年10月11日 (yyyy/mm/dd) （開催日数 2 日間）
場所： 理研仁科センター

※ 事前に仁科センターのセミナー委員会（ npsoc@ribf.riken.jp ）に連絡し、日程重複を避けるようにしてください。

2） タイトル

英文 （※必須）	An investigation into multi-neutron detection via NEBULA and new neutron detectors
和文	NEBULA及び新しい中性子検出器を組み合わせた多中性子検出に関する検討会

※ 採択された研究会はRIKEN Accelerator Progress Report に掲載するため英文タイトルは必須です。

3） 目的 (400字以内・書式自由)

中性子検出器NEBULAは、中性子過剰核が崩壊時に放出する高速中性子の4元運動量を大立体角・高検出効率で測定するために建設された、RIBF-SAMURAIで行われる物理のキーとなる検出器の一つである。2012年のSAMURAI稼働以降、SAMURAI-NEBULAを用いた様々な実験の可能性が提案されるようになり、NEBULAの構成の変更や他の中性子検出器との組み合わせ使用による、3中性子以上の多中性子検出や高分解能・高検出効率な測定に関する検討を進める必要性が高まっている。特に世話人代表者は、三中性子の高分解能検出に関するシミュレーションを行い、次回PACへ申請を行おうとしている。参加者間でNEBULAのシミュレーションに関するノウハウを共有すると共に、NEBULAの構成変更や他の中性子検出器との組み合わせ使用に対応したシミュレーターの製作に関する検討及び議論を深める事を本ミニワークショップの目的とする。

4） 世話人

世話人全員を記入。欄が不足する場合は行をコピーしてください。

	氏名	所属機関	電話	E-mail
世話人代表者 ※1	前田幸重	宮崎大学	0985-58-7369	yukie@cc.miyazaki-u.ac.jp
世話人2	近藤洋介	東京工業大学	03-5734-2729	kondo@phys.titech.ac.jp
世話人3				
RIBF内世話人 ※2	笹野匡紀	理研仁科センター	4758	sasano@ribf.riken.jp

※1 世話人代表者は、理研RIBF外の方が望ましい。
※2 理研RIBF内に世話人がいない場合は、事務局へご連絡ください。

5） 参加予定者・補助概算額

欄が不足する場合は行をコピーしてください。

氏名	所属機関・身分	旅費補助 ※補助予定者についてのみ記入				
		交通費概算		宿泊費概算		
		経路	金額	単価	泊数	宿泊費計
前田幸重	宮崎大学・助教	JR木花駅～和光市駅	¥50,000	¥ -	1	¥ -
金谷佳尚	宮崎大学・修士1年	JR木花駅～和光市駅	¥50,000	¥ 1,500	1	¥ 1,500
五反田修平	宮崎大学・修士1年	JR木花駅～和光市駅	¥25,000	¥ 1,500	1	¥ 1,500
近藤洋介	東京工業大学・助教					¥ -
笹野匡紀	理研仁科センター・研究員					¥ -
久保田悠樹	理研仁科センター・JRA					¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
合計		¥				128,000

参加予定者全員の氏名・所属機関を記入し、旅費補助予定者については補助概算額を記入してください。
【注意事項】
- 外国から招へいする場合は、日本国内の旅費と宿泊費をサポートします。
- 東京都・埼玉県内に勤務する参加者は旅費補助の対象外です。
- サポートは実費です。
- 宿泊費は6,720円／泊を上限とします。

■ お茶代

ミニワークショップについてのお茶代の補助はありません。

補助申請額合計	¥ 128,000

※ 上限：150,000円